

新しい社会的リスクと若者、日本型ソーシャル・ガバナンス
— 若者の自律スペース、年配世代の事業運動ネットワーク、「自由」の公的保障 —

濱西 栄司

(京都大学大学院文学研究科 非常勤講師)

柴田 悠

(日本学術振興会 特別研究員-PD)

渡邊 太

(大阪大学大学院人間科学研究科 助教)

2010 年 9 月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本報告書 1 章では、まず日本の若者の困難な状況を紹介した上で、企業雇用・労働統合を超えた公的な社会保障や自助支援運動に目を向ける必要性が語られる。ローマとコペンハーゲンの若者自律スペースの調査成果を整理した上で、2 章では日本での自律スペースの試みについて実践者自らの声を通して記述していく。3 章では年配世代の事業運動ネットワーク（協同組合や事業 NPO、社会的企業含む）の数量分析を行ない、自律スペースとの連携可能性を探り、最後に 4 章では、「圧縮された近代」下にある各社会において、基礎となる公的な社会保障（教育保障など）が立ち遅れる状況とそのメカニズムとが分析される。

キーワード： ソーシャル・ガバナンス、自律スペース、社会的企業、公的保障

2009年度次世代研究「個々人の経験とオルタナティブな親密圏／公共圏」（研究代表：加藤源太）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2009年度プロジェクト時点

加藤 源太（京都大学大学院文学研究科 非常勤講師）

濱西 栄司（京都大学大学院文学研究科 博士後期課程 / 日本学術振興会 特別研究員-DC1）

樋口 拓朗

柴田 悠（京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程）

渡邊 太（大阪大学大学院人間科学研究科 助教）